

9月議会

# 鳥獣被害対策の実態と踏み込んだ対策について 狩猟者の育成と捕獲獣の処理・処分の場所の確保を



菅原明議員

マート捕獲等普及加速化推進  
そのうえで、今後の対策として、国の交付金を活用し

度に比べ減っているとし、対策として①捕獲等に関する取扱いを確実に努めた回答しました。

倉成淳市長は、報告のあつた被害は令和6年度は、前年

**スマート機器を使い  
捕獲活動の負担軽減をめざしたい**

一方、捕獲による個体数の管理、柵の設置など侵入防止対策、放任果樹の伐採など生息環境管理などの対策が言われているが、現場ではいずれも早急に取り組めないのが実情だとして、市の被害の状況を質し、狩猟者の育成、捕獲獣の処理・処分の方法や場所を確保することを提案しました。

菅原明議員は、熊・鹿・イノシシなどによる被害対策が一層大きな課題になつていると強調しました。

する取り組みについて説明しました。（左参照）

奥州市議会令和7年第3回定例会（9月決算議会）が、8月29日から始まりました。日本共産党奥州市議団は、全員が市民要求実現のため一般質問に立ちました。今週号は、菅原明議員の一般質問の概要をお知らせします。

# 民報 おうしゅう

読者版

発行  
赤旗奥州出張所  
水沢大手町3丁目59  
Tel 24-2021  
Fax 24-2049

## 指定避難所にエアコンの設置が欠かせない

菅原明議員は、国内では地震や台風、豪雨といった自然災害が頻

発しており、指定避難所での熱中症の危険が高まるため、エアコンの設置は被災者の健康を守る上で欠かせないとして、災害時の停電にそなえ発電装置と併せての整備を求めました。

### 体育館など現時点で困難

倉成淳市長は、第一次収容避難所のうち28カ所の地区センターでは会議室・和室にエアコンが設置されており、各総合支所、奥州市総合体育館に空調設備がそなえら

れている。  
しかし、水害時の避難所である姉体小学校、稻瀬小学校、玉里地区的農業者トレーニングセンターの体育館の他、大規模災害時に想定されている地区センターの体育館にはエアコンが設置されておらず、大きな課題だと考えていました。

避難者数によつては、エアコンが設置されていない体育館の利用も想定しているが、設置費用、停電時の運用、構造上の問題など課題が多く、現時点では実現が難しいと考えている。

避難所環境の向上に向けて施設担当者とともに空調設備設置に関する課題を整理し、国の補助金を活用した計画的な導入の可能性について検討を進めたいと回答しました。



### 積み市に推薦していただく



### 狩猟免許取得後も 養成基幹が必要

### 獣友会で1~2年経験を

担当者は、猟銃免許の取得について全額、銃の取得については二分の一、10万円を限度に補助しており、昨年は7件の免許取得があり、うち20歳代、30歳代が各一名で、一度獣友会に加入後、1~2年実績を積み、市の方に推薦してもらう形をとつてている。

事業によりセンサーランプや遠隔操作捕獲等のスマート機器を活用した効果の実証実験を行い捕獲活動の負担軽減につなげたい  
合わせて捕獲した有害鳥獣の処理について、喫緊の課題だとして、解体場所の確保、集合・埋設場所について、獣友会や地元と協議し市の遊休施設の活用などで確保に努めました。

菅原明議員は、獣友会の高齢化の問題にかかり、後継者の育成について、免許取得後の養成の在り方について質しました。

また、獣友会の負担を軽減するための有害捕獲サポート事業といふことで、畏を仕掛けたら餌やりや見回りをするサポートセンターを配置し負担軽減に取り組んでいることを明らかにしました。

